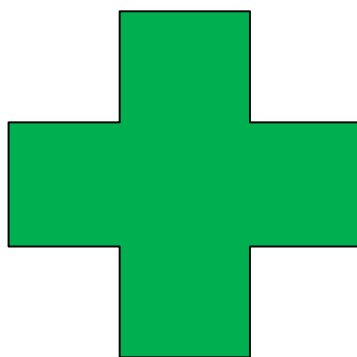


# 安全衛生統計資料 コメント付き

平成22年版

平成23年度 産業安全運動100年記念事業スローガン  
『安全専一』から100年 未来へつなごう安全の心



安全第一



厚生労働省 筑西労働基準監督署

平成23年4月

本資料は、茨城労働局のホームページにカラー版（PDF）が掲載されています。  
（アドレス [http://www.ibarakiroudoukyoku.go.jp/corner\\_kantoku/index.html](http://www.ibarakiroudoukyoku.go.jp/corner_kantoku/index.html)）

## 平成22年 筑西署管内の災害統計

### 目次

- P-1 ... グラフ1 平成18年～22年・業種別年別災害発生状況(休業4日以上)
- P-2 ... グラフ1 2 平成18年～22年・業種別年別災害発生状況(休業4日以上)
- P-3 ... グラフ1-3 平成18年～22年・業種別年別災害発生状況(死亡災害)
- P-4 ... グラフ2 平成18年～22年・業種毎の災害発生状況の推移(休業4日以上)
- P-5 ... グラフ3 平成22年・事故の型別災害発生状況(休業4日以上)・円グラフ
- P-6 ... グラフ4 平成21、22年・年代別災害発生状況(休業4日以上)
- P-7 ... グラフ5 平成22年・災害程度別発生状況(休業4日以上)
- P-8 ... グラフ5-2 平成22年・災害程度別発生状況(休業4日以上)・円グラフ
- P-9 ... グラフ6 平成18年～22年・月別災害発生状況(休業4日以上)
- P-10 ... グラフ7 平成21、22年・曜日別災害発生状況(休業4日以上)
- P-11 ... グラフ8 平成22年・傷病性質別災害発生状況(休業4日以上)
- P-12 ... グラフ8-2 平成22年・傷病性質別災害発生状況(休業4日以上)・円グラフ
- P-13 ... グラフ9 平成21、22年・時間帯別災害発生状況(休業4日以上)
- P-14 ... 表1 平成22年・死亡災害事例
- P-15 ... グラフ10 定期健康診断有所率の推移(平成17年～22年)
- P-16 ... グラフ11 平成21、22年・定期健康診断の項目ごとの有所見率

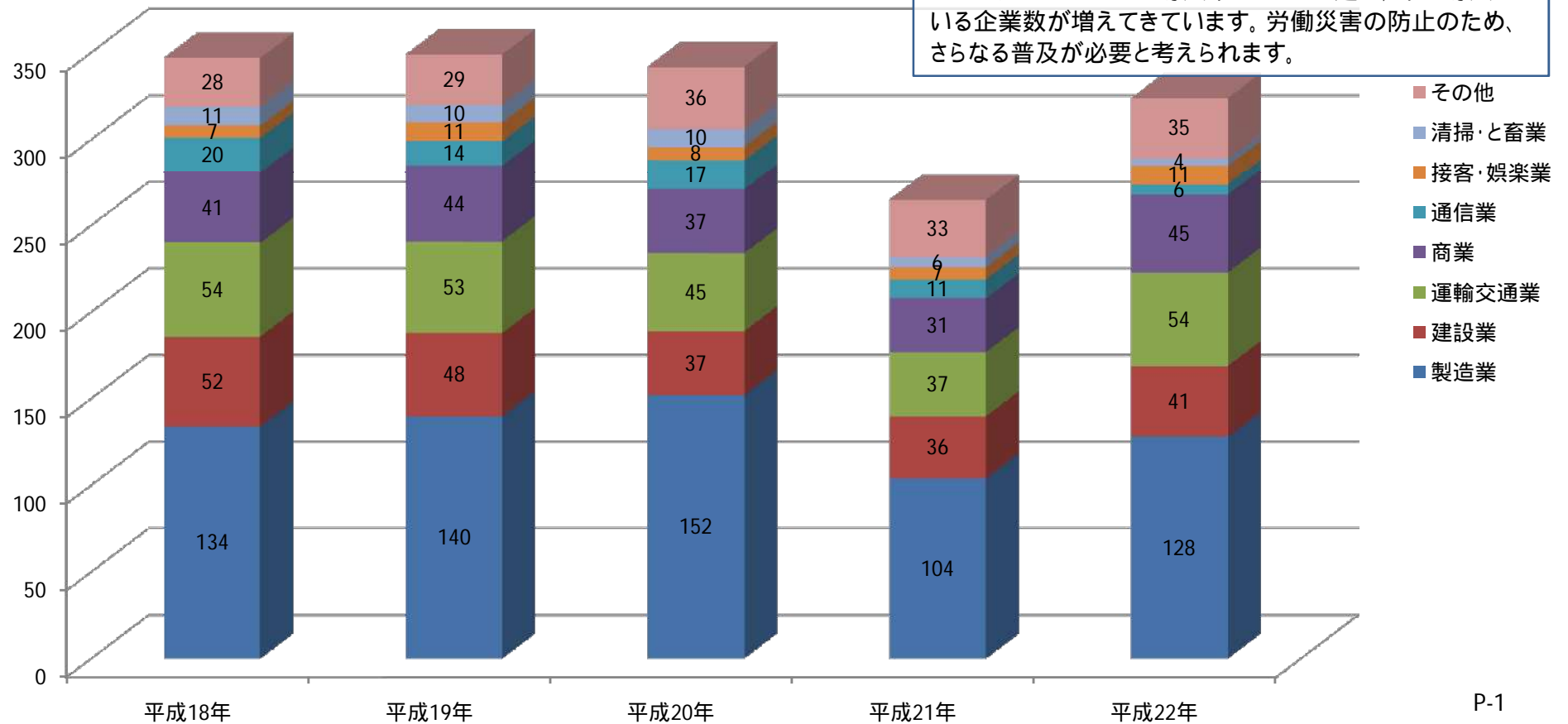
# グラフ1 平成18年～22年・業種別年別災害発生状況 (休業4日以上)

## コメント

平成22年は、前年に比べ労働災害の発生件数が大幅に増加しました。(22.3%増)

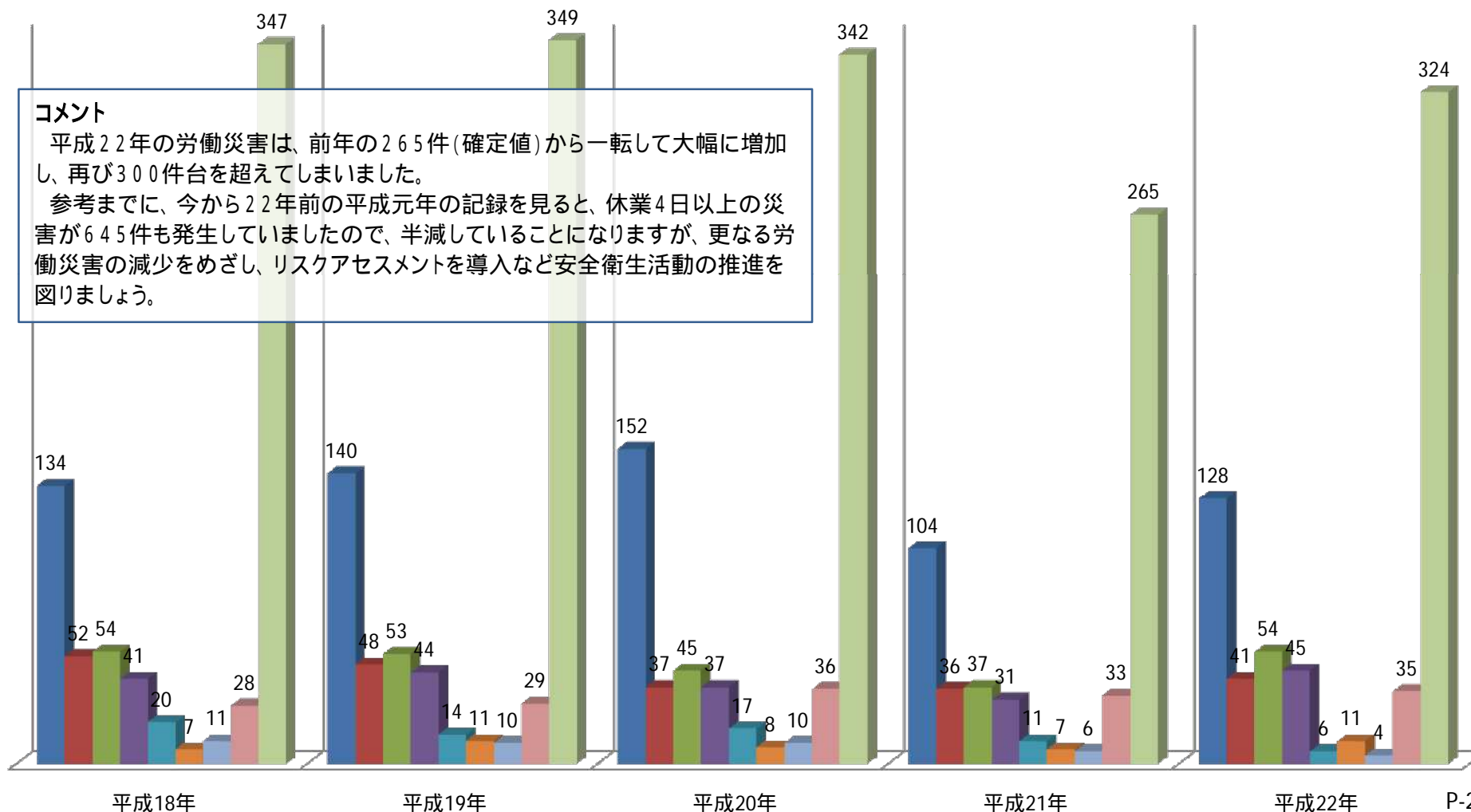
特に製造業で前年比23.1%増となっています。

茨城労働局の調査によると、平成22年3月現在の製造業のリスクアセスメントの導入率は40%を超え、年々導入している企業数が増えてきています。労働災害の防止のため、さらなる普及が必要と考えられます。



## グラフ1-2 平成18年～平成22年・業種別年別災害発生状況 (休業4日以上)

■ 製造業 ■ 建設業 ■ 運輸交通業 ■ 商業 ■ 通信業 ■ 接客・娯楽業 ■ 清掃・と畜業 ■ その他 ■ 計



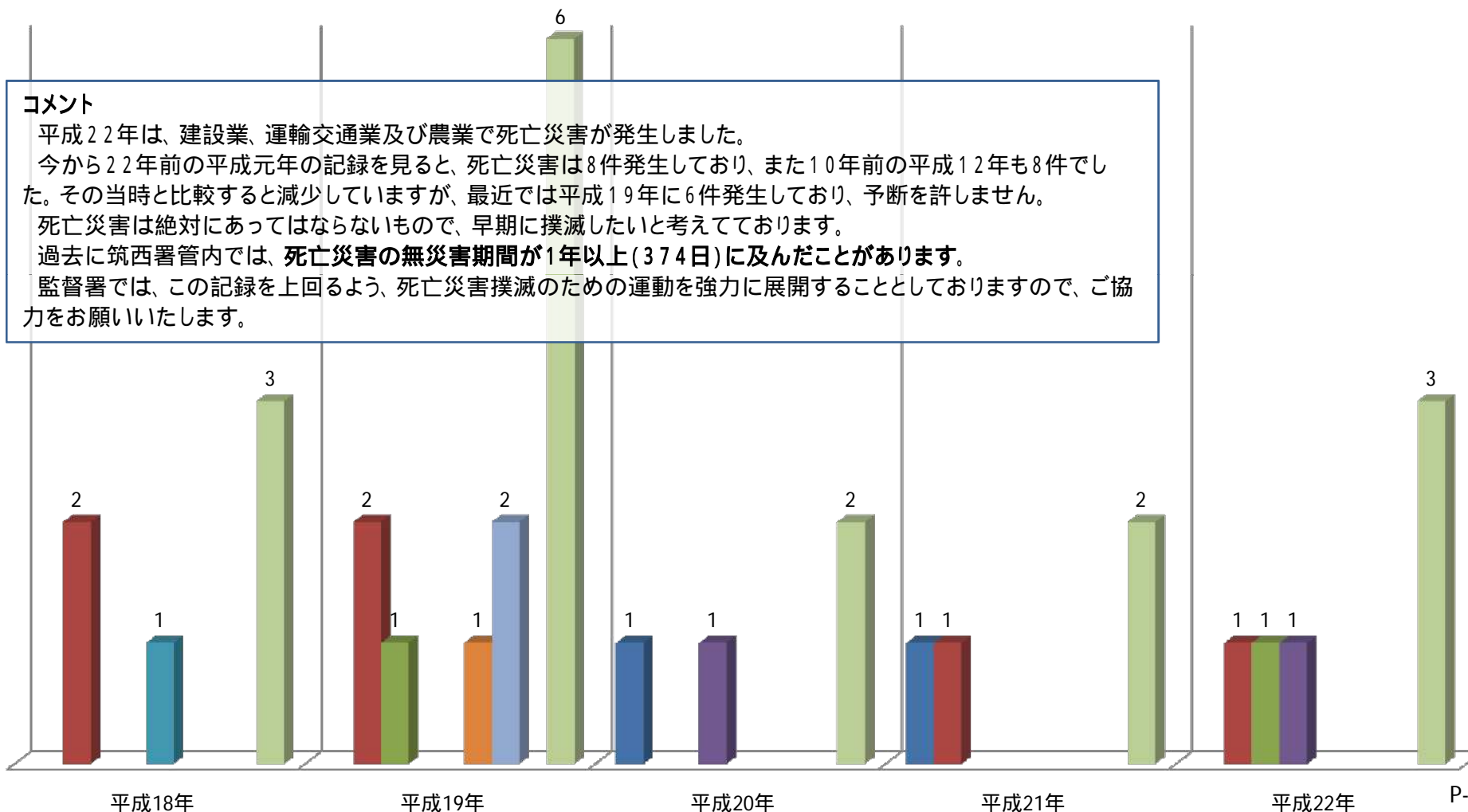
### コメント

平成22年の労働災害は、前年の265件(確定値)から一転して大幅に増加し、再び300件台を超えてしまいました。

参考までに、今から22年前の平成元年の記録を見ると、休業4日以上の災害が645件も発生していましたので、半減していることにはなりますが、更なる労働災害の減少をめざし、リスクアセスメントを導入など安全衛生活動の推進を図りましょう。

## グラフ1-3 平成18年～22年・業種別年別災害発生状況 (死亡災害)

■ 製造業 ■ 建設業 ■ 運輸交通業 ■ 農業 ■ 商業 ■ 接客娯楽業 ■ 清掃・と畜業 ■ その他 ■ 計



### コメント

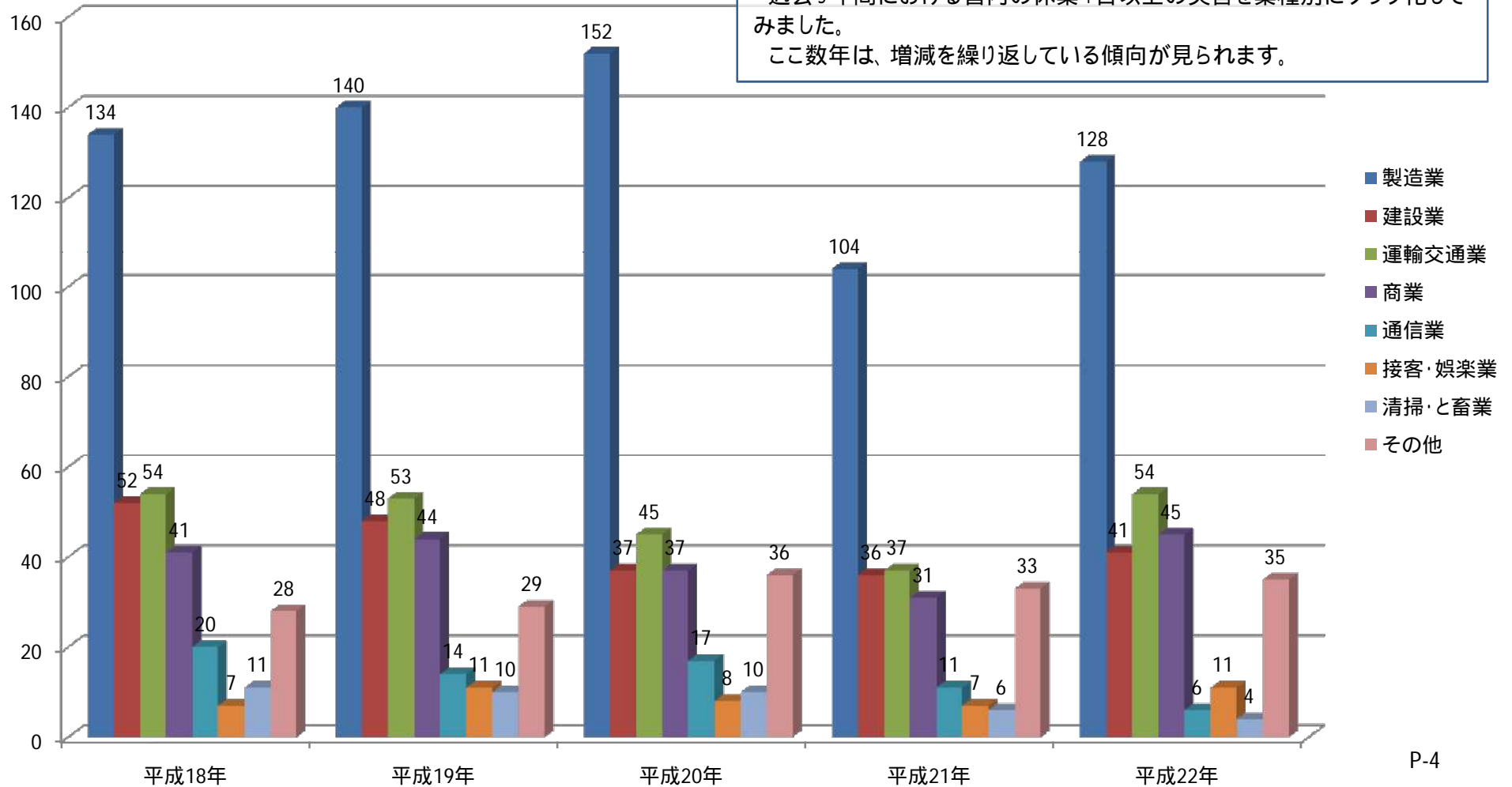
平成22年は、建設業、運輸交通業及び農業で死亡災害が発生しました。  
 今から22年前の平成元年の記録を見ると、死亡災害は8件発生しており、また10年前の平成12年も8件でした。その当時と比較すると減少していますが、最近では平成19年に6件発生しており、予断を許しません。  
 死亡災害は絶対にあってはならないもので、早期に撲滅したいと考えております。  
 過去に筑西署管内では、**死亡災害の無災害期間が1年以上(374日)に及んだことがあります。**  
 監督署では、この記録を上回るよう、死亡災害撲滅のための運動を強力に展開することとしておりますので、ご協力をお願いいたします。

## グラフ2 業種毎の災害発生件数の推移 (休業4日以上)

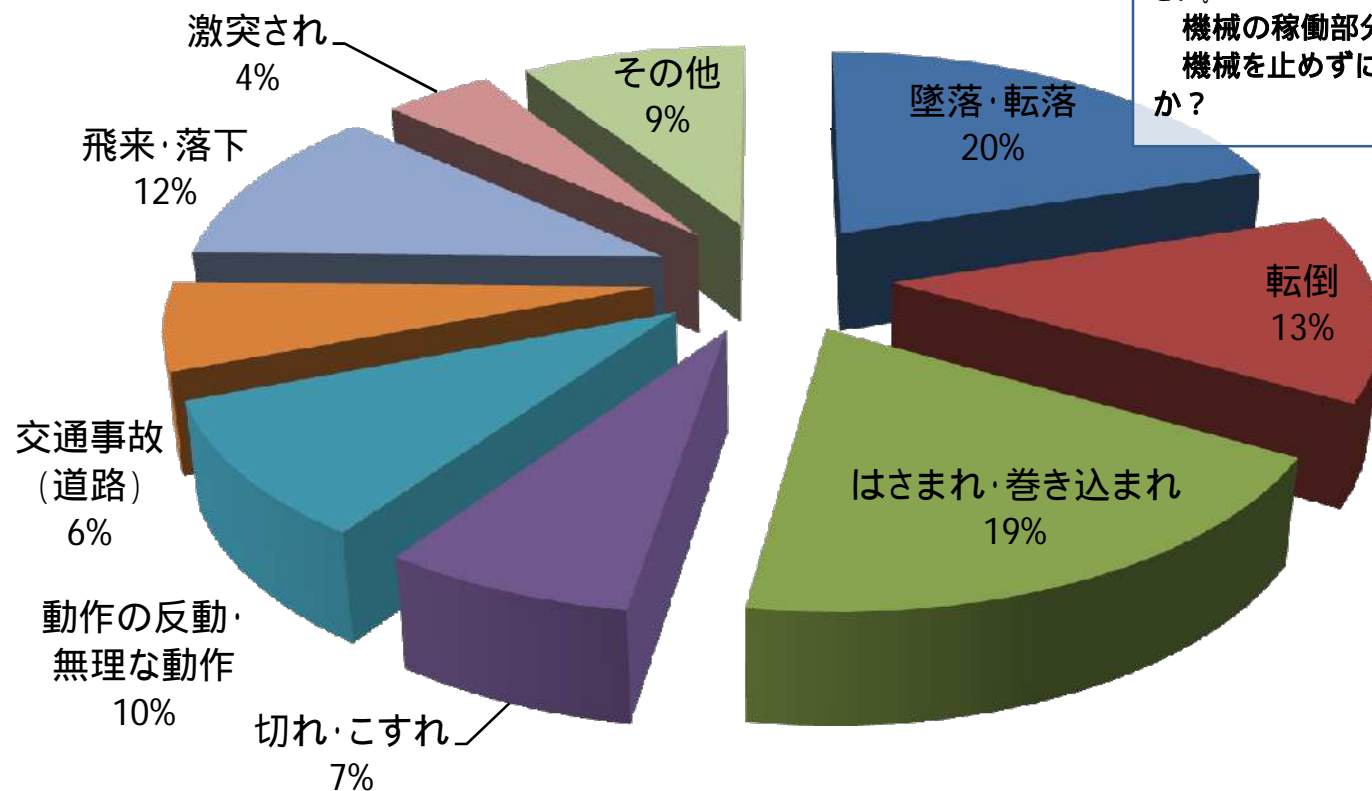
### コメント

過去5年間に於ける管内の休業4日以上災害を業種別にグラフ化してみました。

ここ数年は、増減を繰り返している傾向が見られます。



### グラフ3 平成22年 事故の型別災害発生状況 (休業4日以上)



#### コメント

実際に発生した災害を事故の型別に分析してみました。  
最も多いのは「墜落・転落災害」で、次いで「はさまれ・巻き込まれ災害」、「転倒災害」となります。これらは昔から3大災害に分類されてきたもので、全災害の5割以上に上ります。

特に機械による「はさまれ・巻き込まれ災害」は、障害を残す重篤な災害となることが多いので、要注意です。

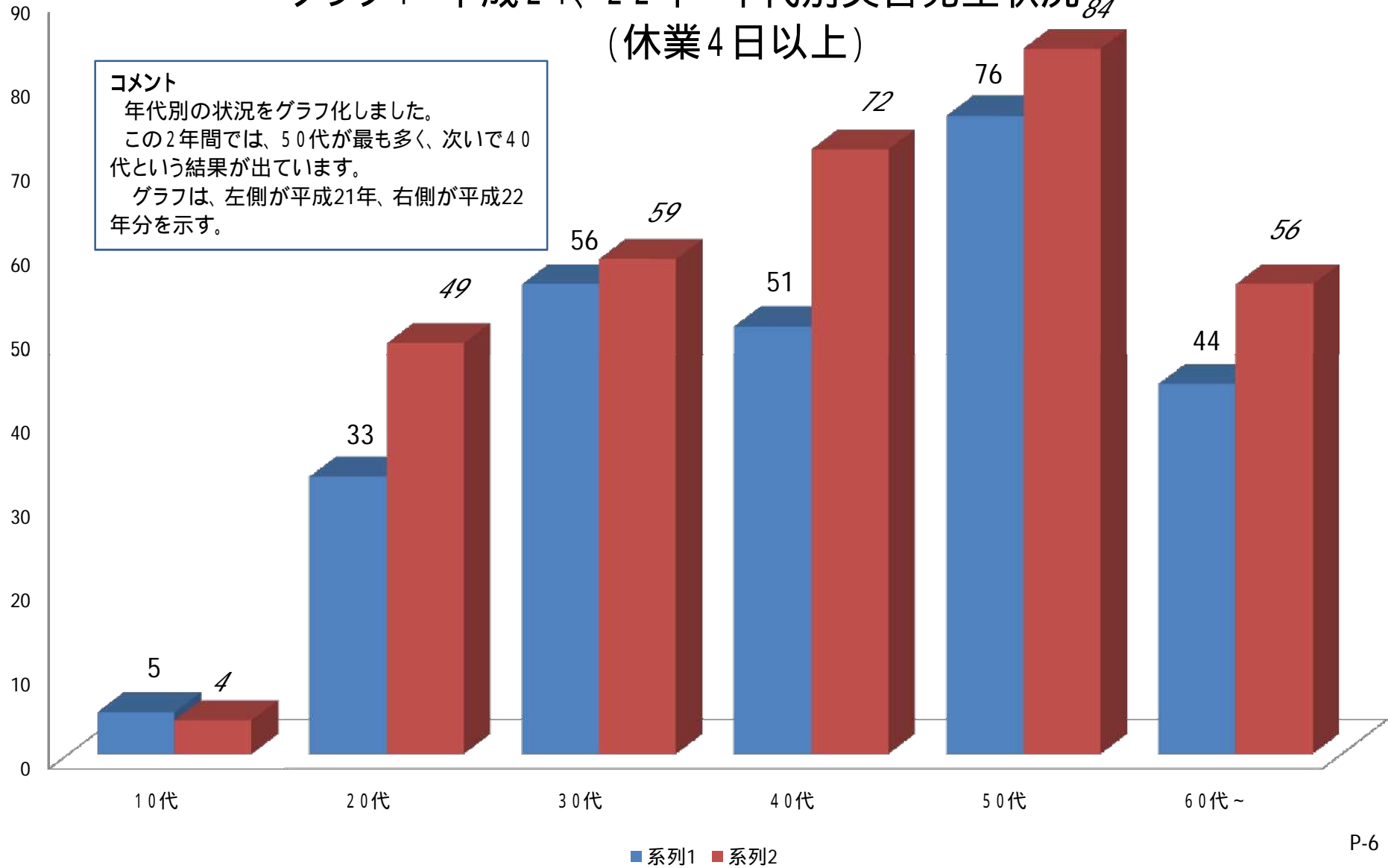
機械による災害を防ぐため、今一度次の点をチェックしてください。

機械の稼働部分に防護(カバー)はありますか？  
機械を止めずにトラブル処理(非定常作業)をしていませんか？

### グラフ4 平成21、22年 年代別災害発生状況 (休業4日以上)

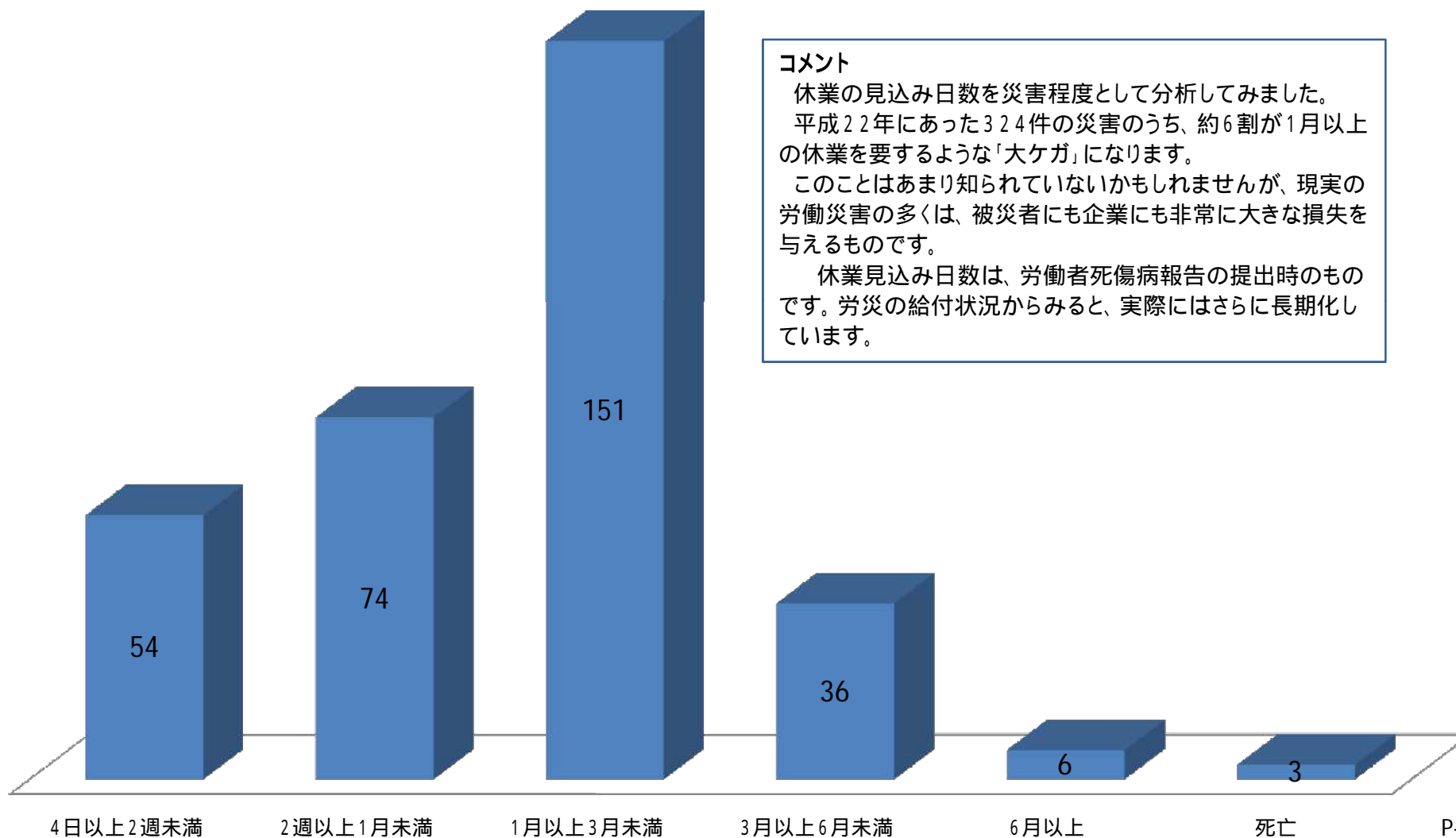
**コメント**

年代別の状況をグラフ化しました。  
この2年間では、50代が最も多く、次いで40代という結果が出ています。  
グラフは、左側が平成21年、右側が平成22年分を示す。





### グラフ5 平成22年 災害程度別発生状況



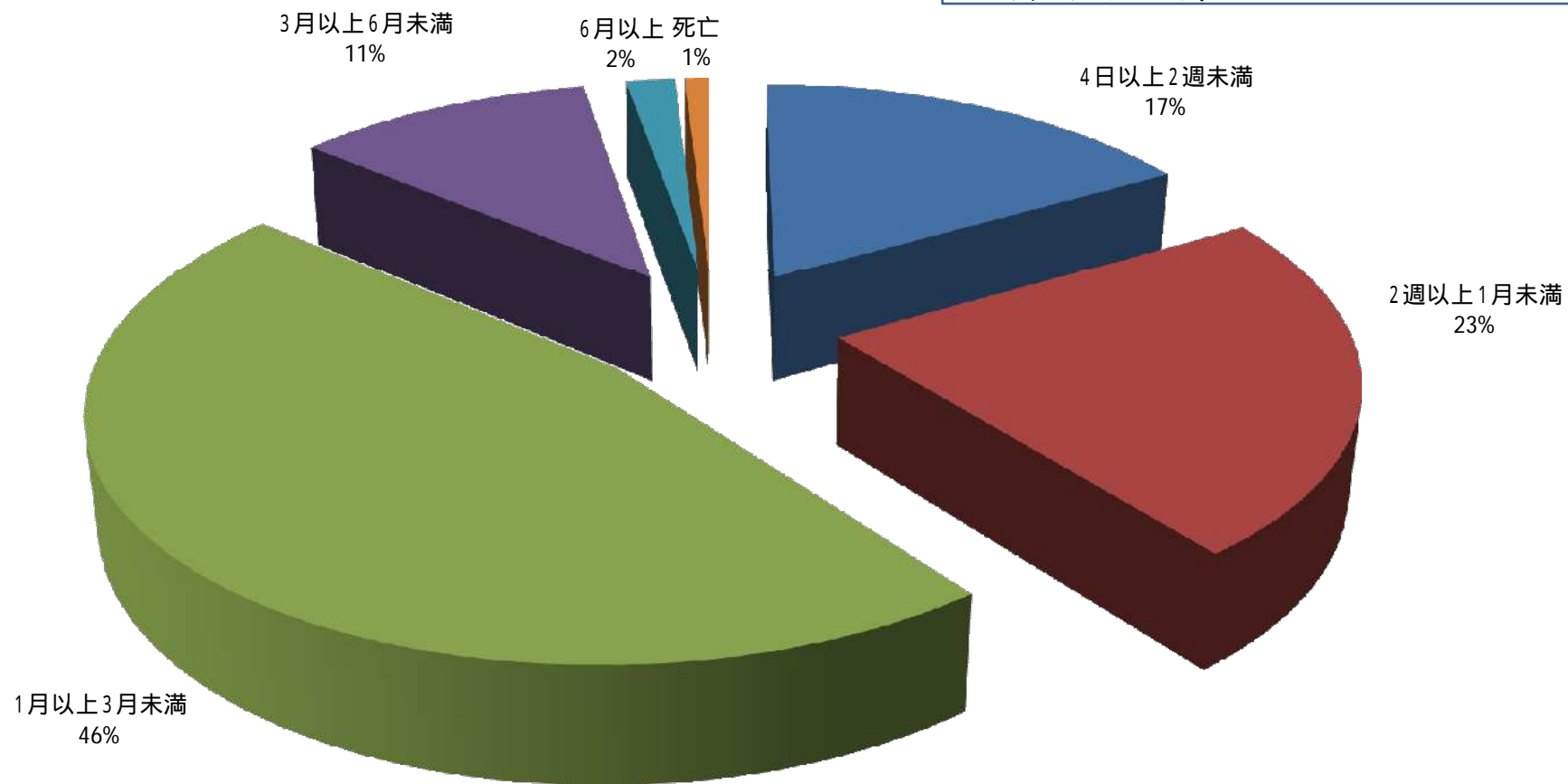
#### コメント

休業の見込み日数を災害程度として分析してみました。  
平成22年にあった324件の災害のうち、約6割が1月以上の休業を要するような「大ケガ」になります。  
このことはあまり知られていないかもしれませんが、現実の労働災害の多くは、被災者にも企業にも非常に大きな損失を与えるものです。  
休業見込み日数は、労働者死傷病報告の提出時のものです。労災の給付状況からみると、実際にはさらに長期化しています。

## グラフ5-2 平成22年 災害程度別発生状況 (休業4日以上)

### コメント

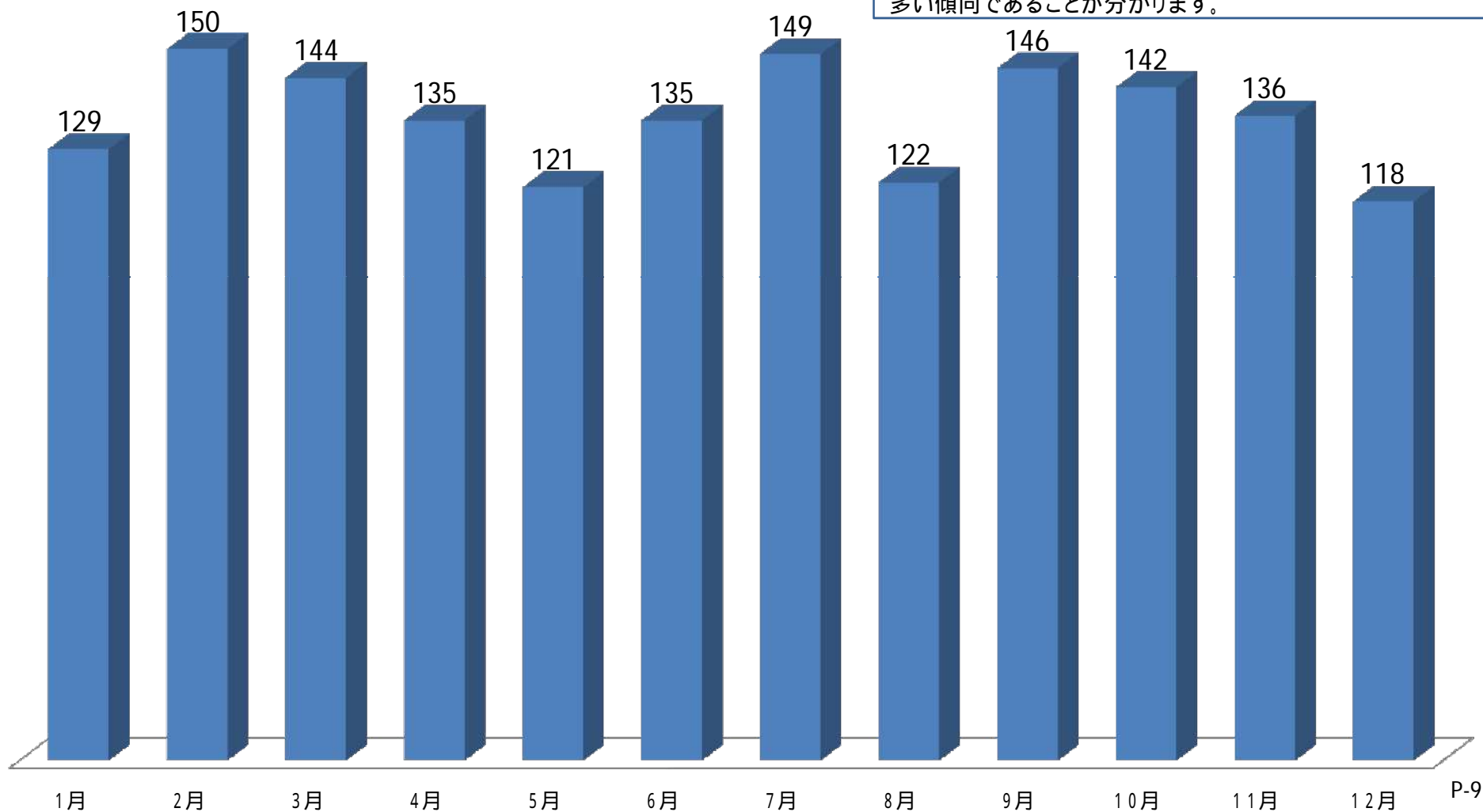
グラフ5を円グラフ化してみました。  
長期の休業を要する、災害程度の大きな災害が多いことに改めて気づくと思います。



グラフ6 平成18年～22年月別災害発生状況  
(休業4日以上)

コメント

過去5年間の労働災害を発生した月別にグラフ化してみました。2月、7月及び9月にピークがあり、厳寒期と夏場に災害が多い傾向であることが分かります。



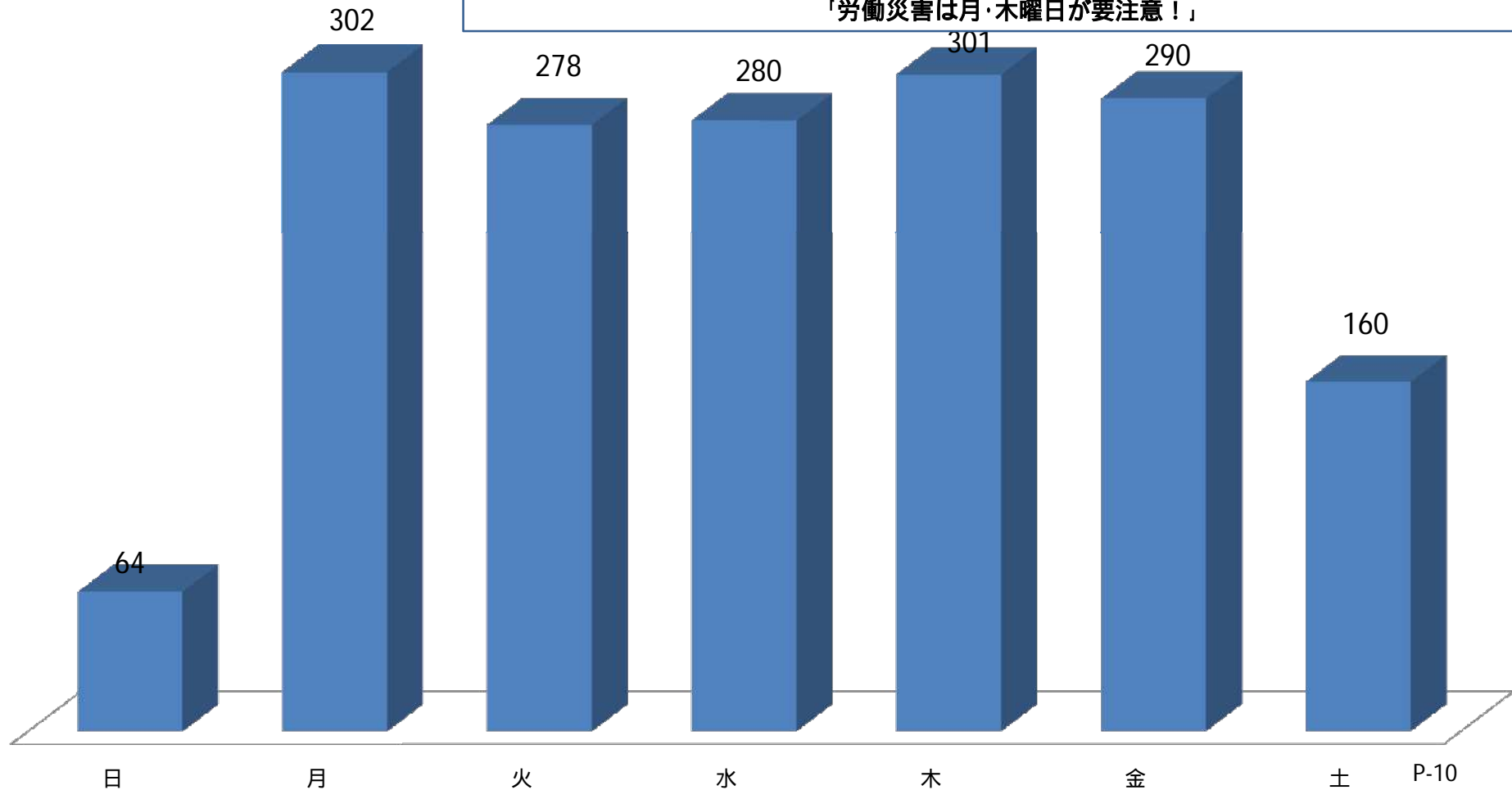
## グラフ7 平成18年～22年 曜日別災害発生状況 (休業4日以上)

統計締切後の災害件数を含む。

### コメント

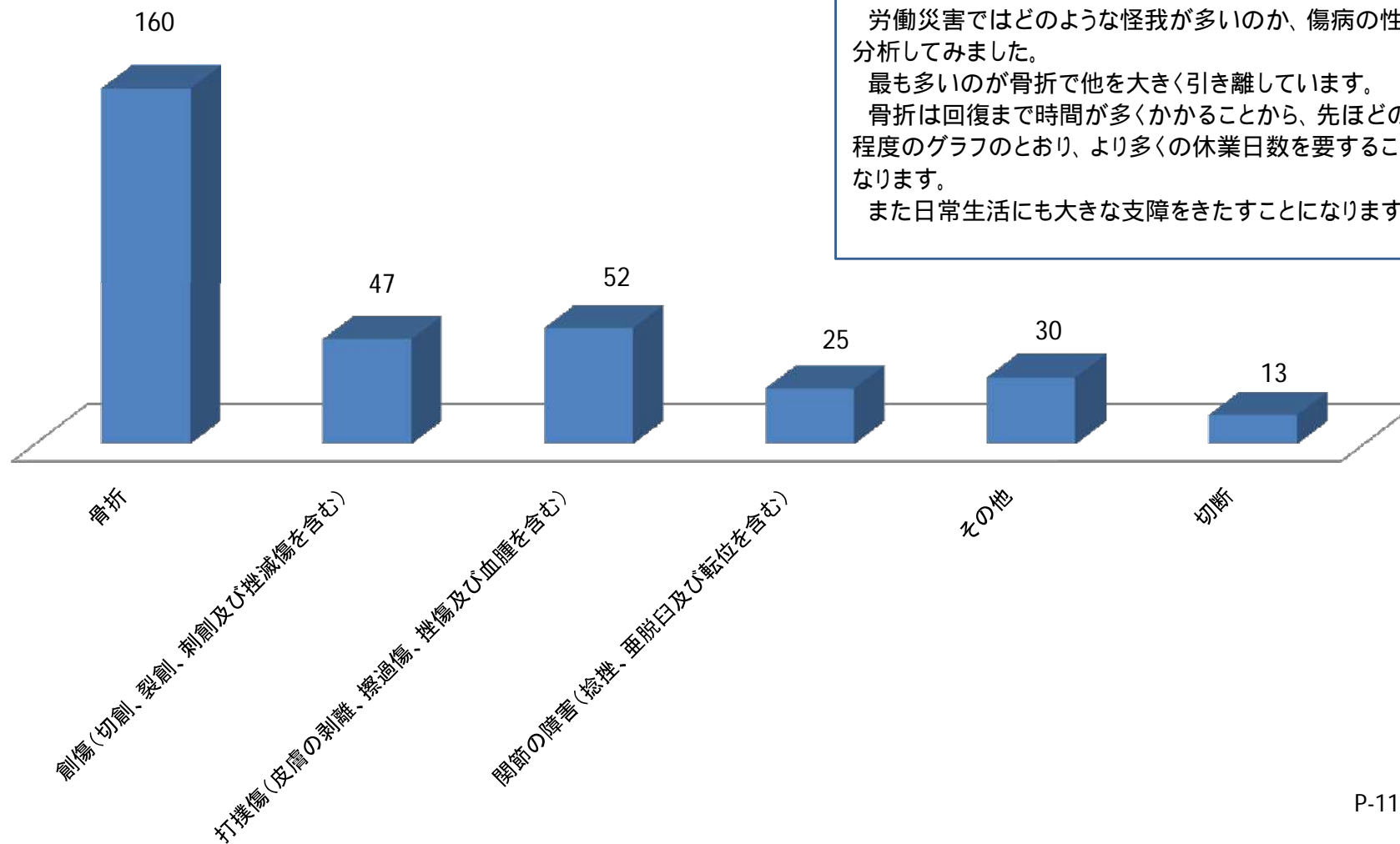
過去5年間の労働災害を発生した曜日別にグラフ化しました。特に月曜日と木曜日が多い結果となりました。 週明けの月曜日に災害が多く発生して、週末に向かう木曜日にまた増える傾向です。

「労働災害は月・木曜日が要注意！」



## グラフ8 平成22年 傷病性質別災害発生状況 (休業4日以上)

統計締切後の災害件数を含む。



### コメント

労働災害ではどのような怪我が多いのか、傷病の性質を分析してみました。

最も多いのが骨折で他を大きく引き離しています。

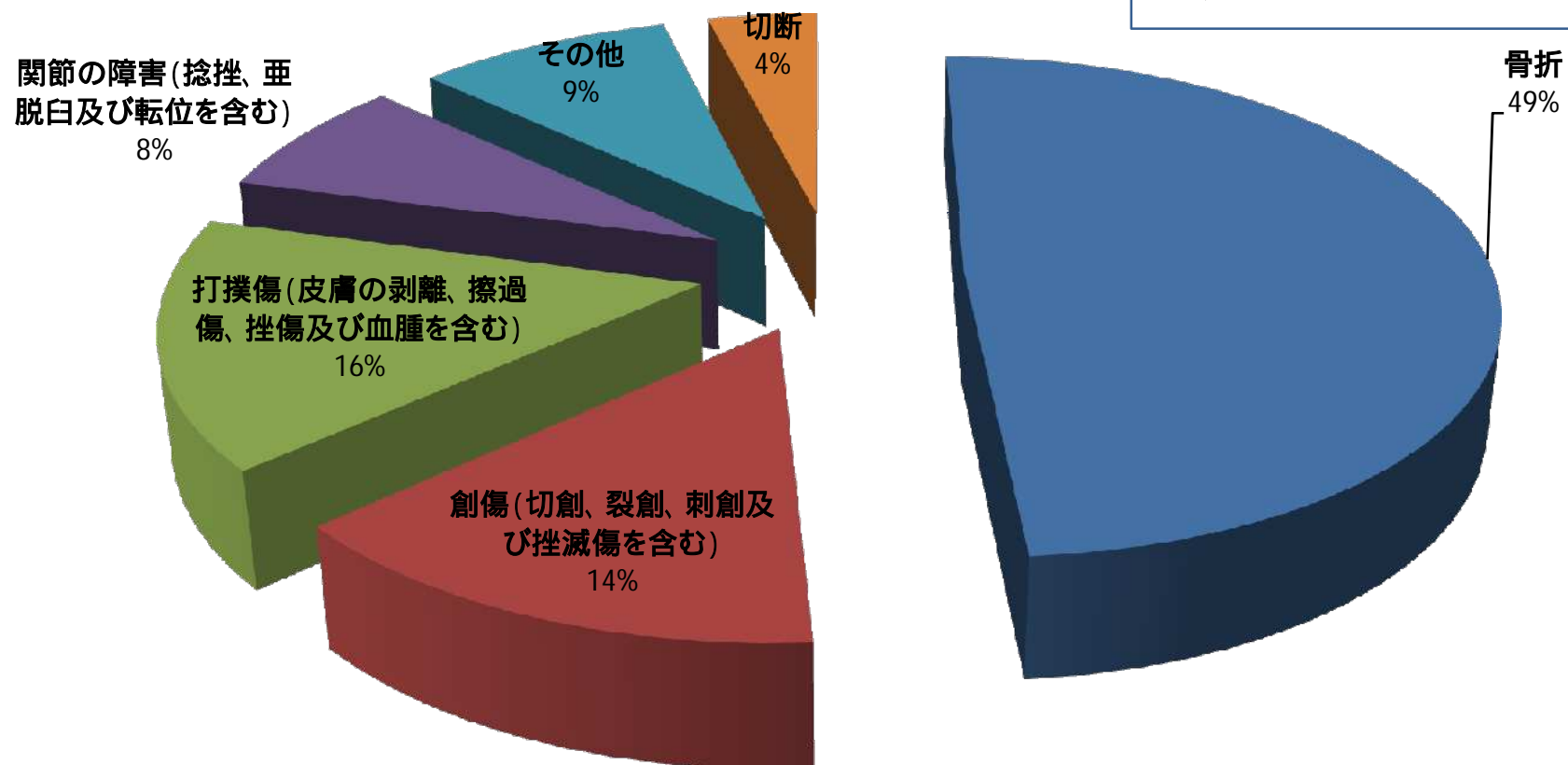
骨折は回復まで時間がかかることから、先ほどの災害程度のグラフのとおり、より多くの休業日数を要することになります。

また日常生活にも大きな支障をきたすことになります。

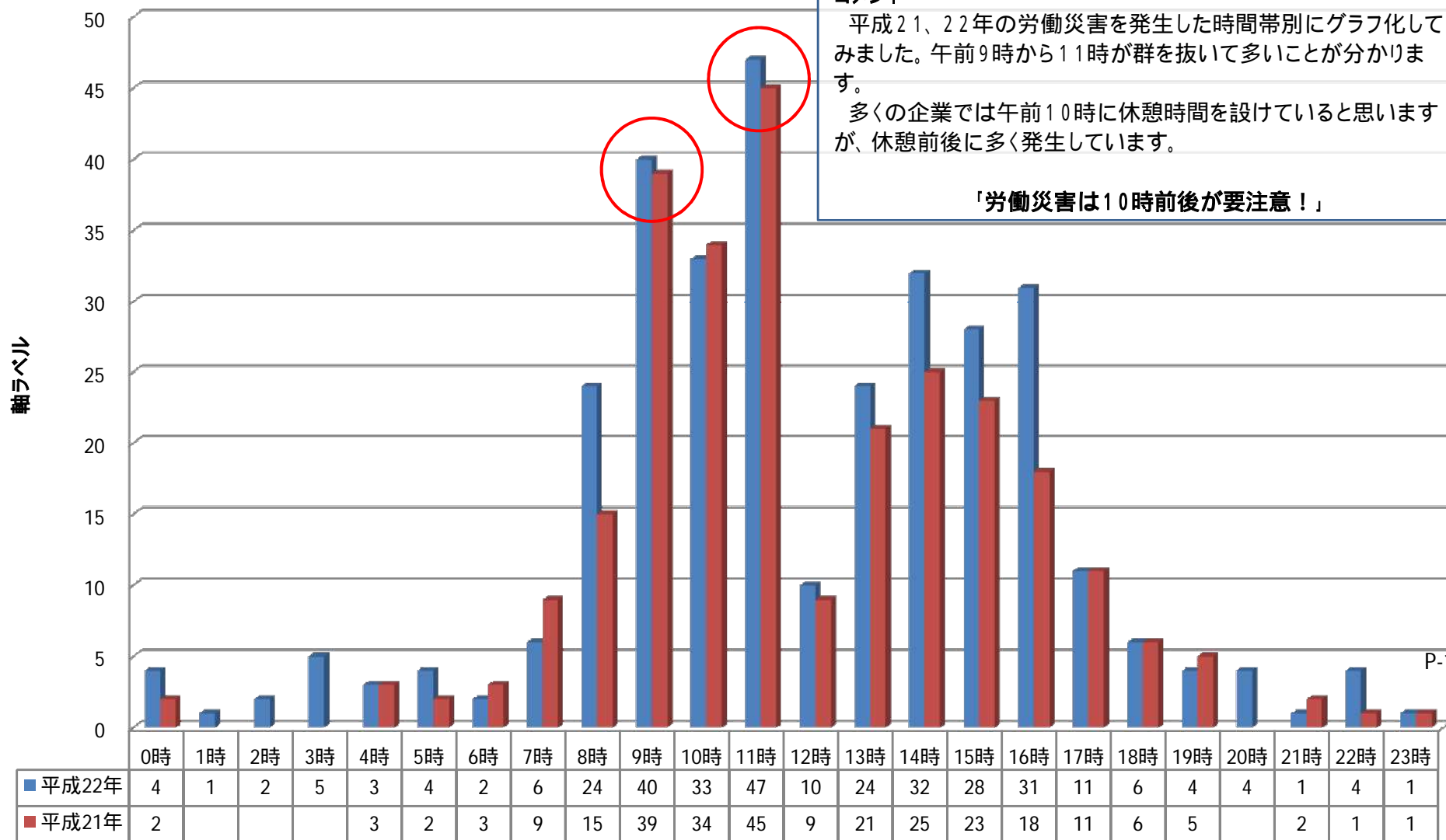
### グラフ 8-2 平成22年 傷病性質別災害発生状況 (休業4日以上)

**コメント**

グラフ8を円グラフにしてみました。半数が骨折で、群を抜いて多いことがわかります。



## グラフ9 平成21、22年 時間帯別災害発生状況 (休業4日以上)



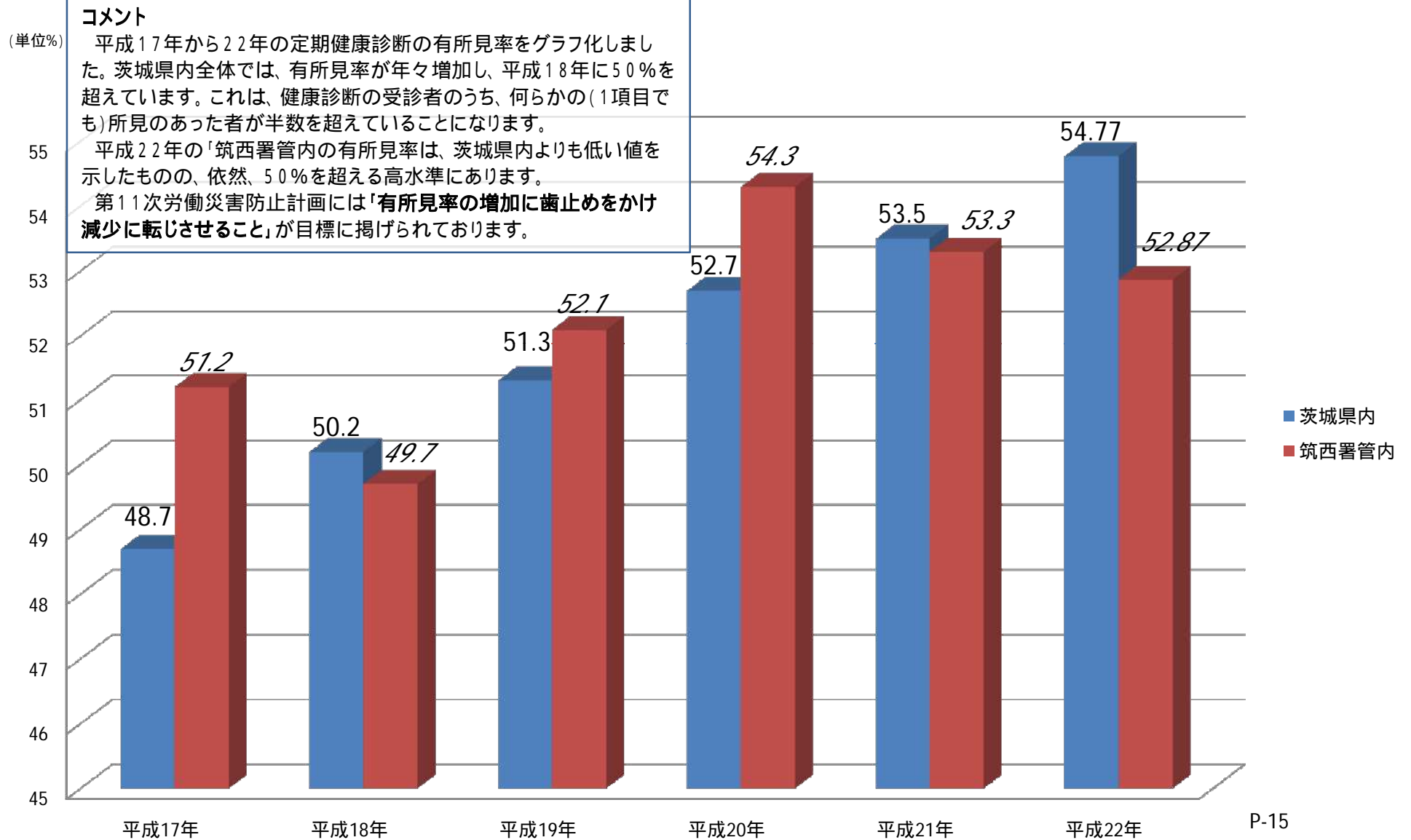
# 表1 平成22年死亡災害事例

筑西労働基準監督署

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
1 3月12日 22:50	運転者 50歳代 6ヶ月	その他の道路 旅客運送業	交通事故 (道路)  トラック	運転代行の依頼先に向かうため、同僚と2人で乗用車で道路を走行中、信号機のある交差点で、大型トレーラーと出会い頭に衝突し、助手席に乗っていた被災者が死亡した。また、運転手とトレーラーの運転手もけがをした。
2 7月22日 14:40	作業員・ 技能者 30歳代 3日	農業	高温・低温 の物との接 触 (熱中症)  高温・低温 環境	サボテンを栽培するビニールハウス内で農薬の散布作業を行っていたところ、熱中症により倒れているのを発見され、搬送先の病院で死亡した。 同日午後2時30分の気温は35.4度を記録しており、被災者は、農薬から身を守るため防毒マスクやポリエステル製の作業着を着用していた。
3 10月6日 15:30	作業員・ 技能者 30歳代 7年	鉄骨・鉄筋コ ンクリート造 家屋建築 工事業	はさまれ・ 巻き込まれ  フォーク リフト	フォークリフトを運転中、前輪がぬかるみにはまり、脱出しようとアクセルを踏み込んだところ、後方確認をしないで後退させたため、すぐ後ろで作業をしていた被災者が轢かれた。



## グラフ10 定期健康診断有所見率の推移(平成17年～22年)



### グラフ 11 定期健康診断検査項目ごとの有所見率(平成21、22年)

